

2025年3月期 事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

流通の
トータルサポーター

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2025年3月31日をもって第4期を終了いたしました。ここに事業報告書をお届けし、その概況等につきましてご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当社グループでは、中期経営計画「Progress Go'25」で掲げた基本戦略や投資計画を着実に遂行した結果、売上高は初めて1兆円の大台を超え、利益面でも全項目において過去最高の結果となりました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

食を、住まいを、健康を。多様な豊かさ暮らしを一人ひとりの生活にお届けすること。それが私たちの提供したい価値です。

「地域性を、可能性に。」

流通のトータルサポーターとして、今後もヤマエグループは一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2025年6月



代表取締役会長CEO
網田 日出人



代表取締役社長COO
大森 礼仁

当連結会計年度の概況

当連結会計年度における我が国経済は、国内観光客やインバウンドの増加、スポーツ・音楽などのイベント増加などにより、主に外食産業を中心に需要が堅調に推移いたしました。また、日銀の2024年3月マイナス金利政策解除後も追加利上げを行うなど、経済活動は緩やかに改善が進んでおります。一方、トランプ政権の相互関税発動をはじめ不安定な国際情勢や変動の激しい株式・為替相場、人手不足、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価の上昇を受けて消費者の生活防衛意識・節約志向が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の下、当企業グループは、「流通のトータルサポーター」として、グループ丸となってサプライチェーン全体の発展に寄与すると同時に、川上から川下までありとあらゆる場面においてビジネスをプロデュースする企業集団として、総合力を活かした営業体制の構築に努めるとともに、中期経営計画「Progress Go'25」で掲げた基本戦略（「ガバナンス強化」、「サステナビリティ戦略」、「M&A戦略」、「エリア・物流戦略」）や投資計画の着実な遂行により、持続的な成長に向けた事業基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は初めて1兆円の大台を超え、1兆69億14百万円（前期比41.3%増）となり、2,941億96百万円の増収となりました。

利益面におきましては、販売面における同業他社との競争の激化や、エネルギー価格上昇に伴う水道光熱費や物流費の想定以上の高騰など利益の押し下げ要因がありますが、グループ全体で業務の見直しや効率化に取り組むことで経営基盤の強化を図り、営業利益は157億81百万円（前期比13.4%増）、経常利益は175億69百万円（前期比19.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は85億40百万円（前期比1.0%増）といずれも過去最高の業績となりました。

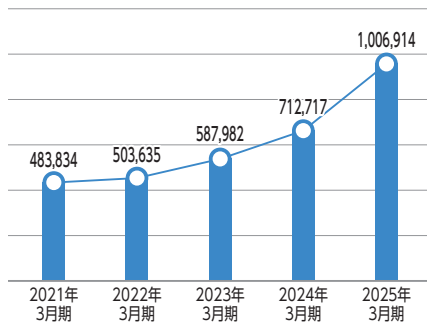
なお、次期の見通しにつきましては、連結売上高1兆600億円、連結営業利益190億円、連結経常利益200億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円を見込んでおります。

連結決算ハイライト

売上高

単位:百万円

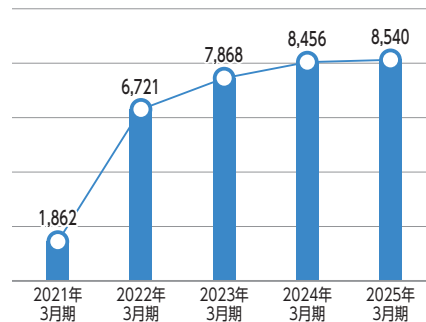
1,006,914
百万円
前期比
41.3%増



親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円

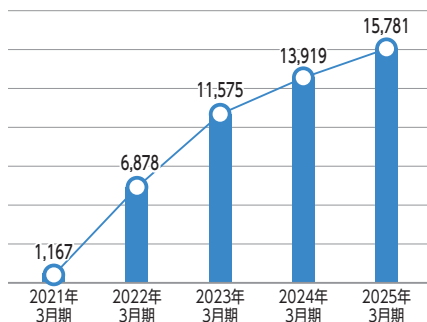
8,540
百万円
前期比
1.0%増



営業利益

単位:百万円

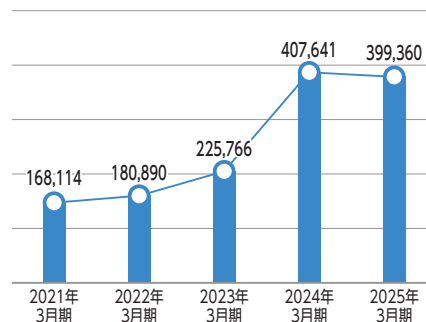
15,781
百万円
前期比
13.4%増



総資産

単位:百万円

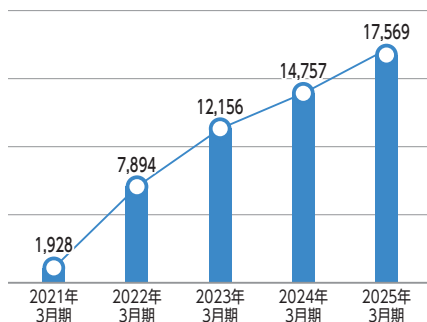
399,360
百万円
前期比
2.0%減



経常利益

単位:百万円

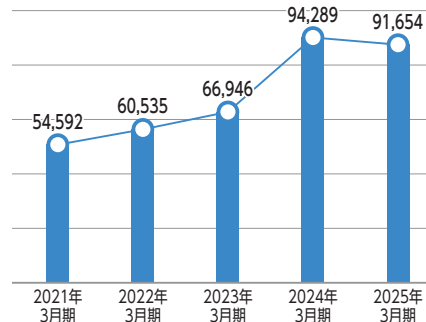
17,569
百万円
前期比
19.1%増



純資産

単位:百万円

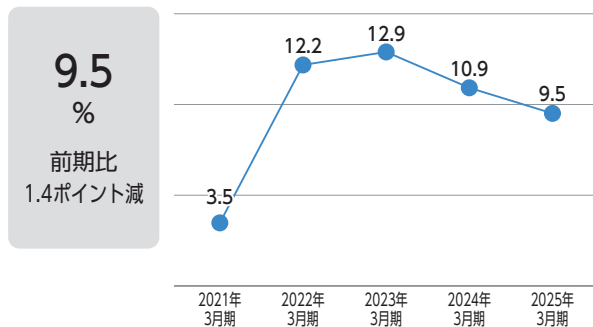
91,654
百万円
前期比
2.8%減



連結決算ハイライト

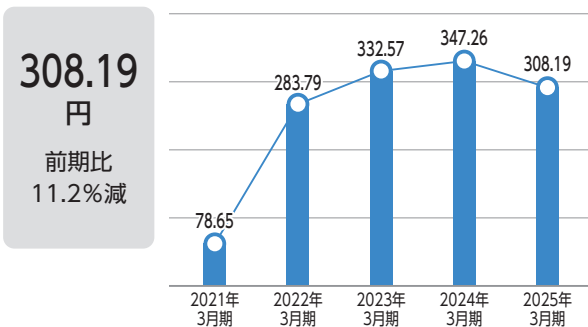
自己資本当期純利益率 (ROE)

単位：%



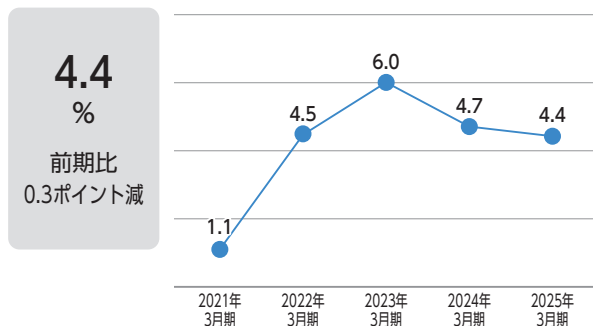
1株当たり当期純利益

単位：円



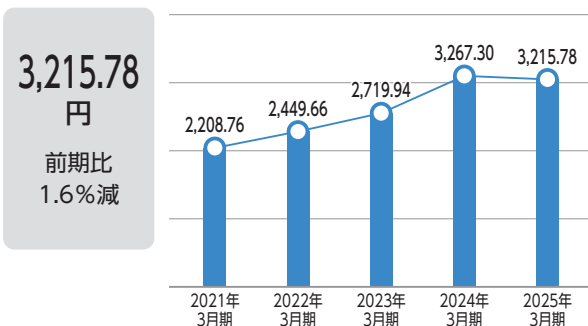
総資産経常利益率 (ROA)

単位：%



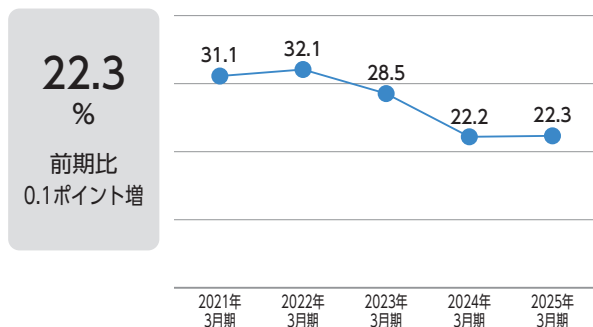
1株当たり純資産

単位：円



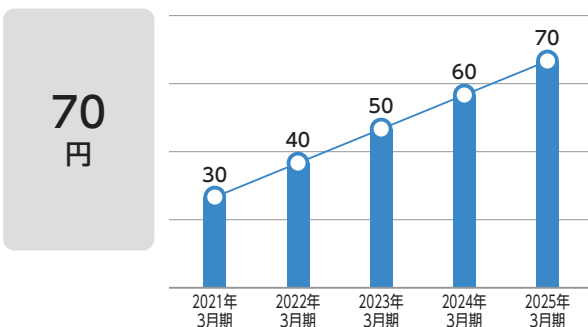
自己資本比率

単位：%



1株当たり配当金

単位：円

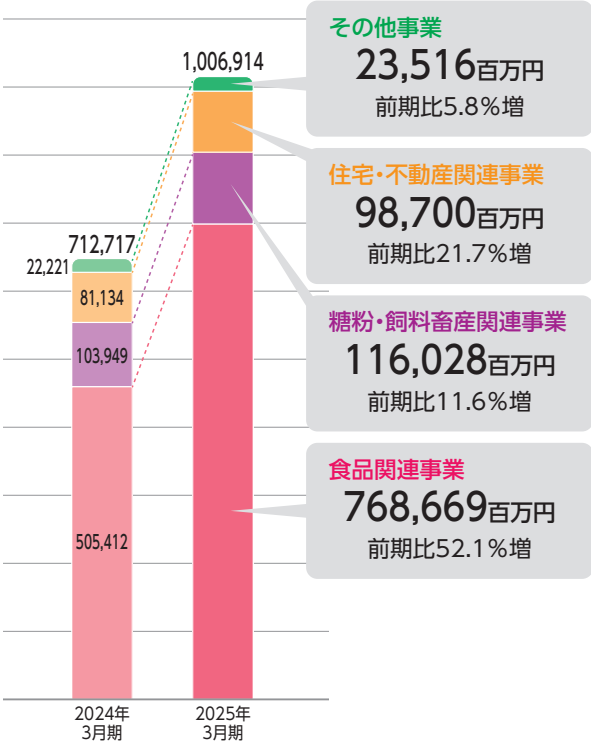


(注)1. 2021年3月期の数値は、ヤマエ工野株式会社の情報であります。
2. 2022年3月期の数値は、単独株式移転により完全子会社となったヤマエ工野株式会社の情報を引き継いでおります。

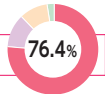
連結セグメント情報

セグメント別売上高

単位:百万円

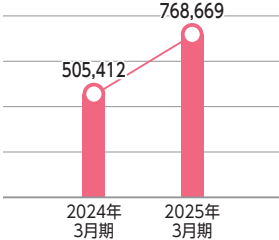


食品関連事業



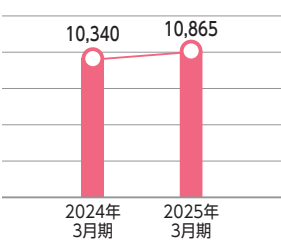
売上高

単位:百万円



セグメント営業利益

単位:百万円

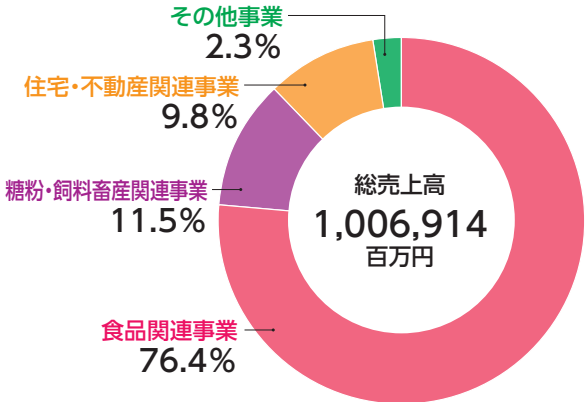


食品関連事業におきましては、記録的な猛暑や各種イベント開催に伴いアルコール飲料の販売が好調に推移し、忘年会・新年会シーズンに伴う宴会需要が好調で、宴会の規模や価格帯も右肩上がりになっていることに加え、前連結会計年度にグループ入りしたコンフェックスホールディングス株式会社などの子会社業績が通期で寄与いたしました。

一方、2024年は値上げ品目数が前年比6割減と抑制基調ではありますが、累計1万2,520品目の食品値上げが実施されるなど物価の上昇は続いていることから消費者の生活防衛意識がより高まっており、販売面における同業他社との競争が激化いたしました。また、エネルギー価格上昇に伴う水道光熱費や物流費の高騰、当連結会計年度に稼働を開始した福岡市東区のコンビニ向け弁当工場の初期経費も利益の押し下げ要因となりました。

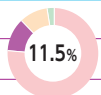
この結果、売上高は7,686億69百万円(前期比52.1%増)となり、セグメント営業利益は108億65百万円(前期比5.1%増)となりました。

セグメント別売上高構成比



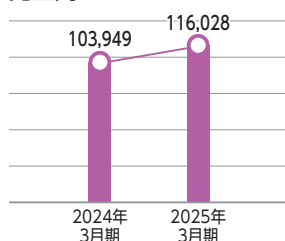
連結セグメント情報

糖粉・飼料畜産関連事業



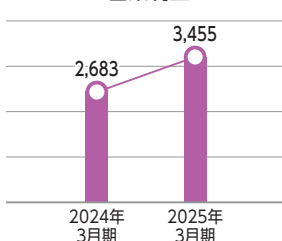
売上高

単位:百万円



セグメント営業利益

単位:百万円



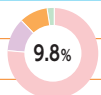
糖粉関連事業におきましては、国内観光客や人数・消費額ともに過去最高を更新しているインバウンドにより土産物や外食需要が好調に推移し、砂糖・小麦粉・油脂など食品原材料の販売が増加いたしました。また、コメについては新米の供給が始まって以降も価格高騰の状況が続いております。

飼料畜産関連事業におきましては、前連結会計年度にグループ入りしたトップ卵株式会社の業績が通期で寄与いたしました。また、昨年前半まで低迷していた鶏卵相場ですが、猛暑による産卵量の減少や飼料価格の高騰により鶏卵相場は上昇に転じ、今年に入っても高止まりしております。さらに、高病原性鳥インフルエンザの感染が全国の農場で猛威を振るっていることも鶏卵市場に影響を与えております。

この結果、売上高は1,160億28百万円(前期比11.6%増)となり、セグメント営業利益は34億55百万円(前期比28.8%増)となりました。

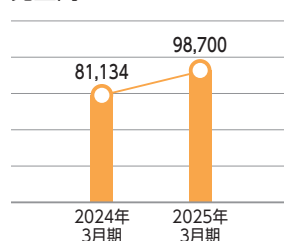


住宅・不動産関連事業



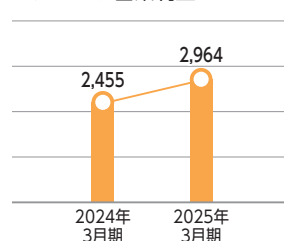
売上高

単位:百万円



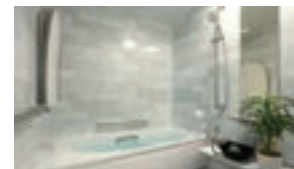
セグメント営業利益

単位:百万円

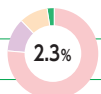


住宅・不動産関連事業におきましては、前連結会計年度にグループ入りした株式会社LUMBER ONEなどの子会社業績が通期で寄与したことに加え、当連結会計年度にグループ入りした株式会社不動産のおおさわなどの子会社業績が寄与いたしました。また、資材価格や物流費の高騰が住宅価格に反映されたことに加え、住宅ローン金利の上昇といった要因から住宅取得希望者の購入意欲低下が見られました。この結果、2024年の年間新設住宅着工戸数は2年連続減少となり、15年ぶりに80万戸を下回るなど業界は依然厳しい環境にあります。このような環境の下、業界内での価格競争が依然として激しく、相応の利益確保が難しい状況が続いております。ただ、足下では2025年2月の住宅着工戸数は前年同月比2.4%増と10ヶ月ぶりの増加になるなど市場に底打ち感が漂いはじめております。

この結果、売上高は987億円(前期比21.7%増)となり、セグメント営業利益は29億64百万円(前期比20.7%増)となりました。



その他事業



レンタカー事業におきましては、年間訪日外客数が2024年に過去最高を更新するなどインバウンド需要による観光地への移動手段としてレンタカーの稼働率が大きく増加いたしました。

運送事業におきましては、「2024年問題」への対応、運送業界における深刻な人手不足、燃料価格の高騰など経営環境は厳しさを増しておりますが、物流品質の向上や業務の効率化に積極的に取り組むことで業績の向上に努めました。

この結果、売上高は235億16百万円(前期比5.8%増)となり、セグメント営業利益は8億39百万円(前期比27.4%増)となりました。

●株主優待制度の導入を発表

一定の要件を満たす株主様へ、ピザハットオンライン及びピザハット店頭で利用可能なデジタルギフトカードを進呈する株主優待制度の導入を発表。

●プロゴルフツアー 中村心選手・加藤麗奈選手と所属契約を締結



●株式会社TATSUMI 本社移転

●「ヤマエグループ総合展示商談会」開催

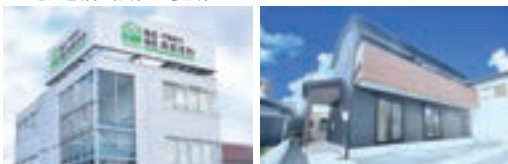
1月22日、マリンメッセ福岡に於いて開催。
参加メーカー様 651社 来場者数 1,008名

●福岡農産株式会社 新社屋完成

●エコーデリカ株式会社 新本社工場稼働



●株式会社不動産のおおさわの株式を取得し、同社及びその子会社である心建設株式会社を子会社とする



●株式会社鹿島技研 本社・工場移転

●中期経営計画「Progress Go'25」の財務指標を上方修正

中期経営計画「Progress Go'25」の2026年3月期（最終目標）の売上高を1兆円、経常利益を220億円に上方修正。

●経済産業省が定めるDX認定制度における「DX認定事業者」に認定

●日本ピザハット株式会社が展開する「ピザハット」が、全国600店舗出店を達成



3月

●福岡県みやま市との「企業立地協定」締結

みやま市と「立地協定」を締結。みやま柳川インターチェンジ北地区産業団地の土地（敷地面積53,267.02㎡）に、株式会社ワイテックが木材加工を行う製造工場を建設予定。



2月

●ヤマエグローバル株式会社を設立

海外事業への本格展開向け、同事業の拡張を目的とする新会社「ヤマエグローバル株式会社」を設立。

●当社所属契約のプロゴルファー竹田麗央選手が「24JLPGA年間女王」のタイトルを獲得（年間8勝）

2025年
1月

12月

11月

10月

9月

●廃油リサイクル事業の推進

ヤマエ野株式会社・株式会社クイックスをはじめとするグループ各社は廃油精製の協力工場と連携し、廃油リサイクル事業をスタート。



8月

●ヤマエ野株式会社 物流における環境負荷低減の取り組みを開始

ヤマエ野株式会社はCO₂排出量低減や燃料コスト削減へ向けた太陽電池搭載配送トラックの実証実験をスタート。

7月

●「ヤマエグループ総合展示商談会」開催

7月24日、みずほPayPayドームに於いて開催。
参加メーカー様 716社 来場者数 1,270名

6月

●ヤマエ野株式会社主催「ハウスフェスタ」開催

6月14日、15日、福岡国際センターに於いて開催。
参加メーカー様 82社 来場者数 5,474名

●譲渡制限付株式報酬制度の導入

当社の取締役役に当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めるため、対象取締役に対し、譲渡制限付株式を割り当てる報酬制度を導入。

5月

2024年
4月

●ヤマエ野株式会社と株式会社日立製作所が協創

多様な顧客向けの商品を取り扱う汎用倉庫における食品カテゴリーの発注業務において、AIにより需要を予測し、適正な在庫量を勘案して、自動で発注を行うシステムの稼働を開始し、発注業務時間の大幅な短縮を実現。

●当社所属契約のプロゴルファー竹田麗央選手がツアー初優勝



株式の概況

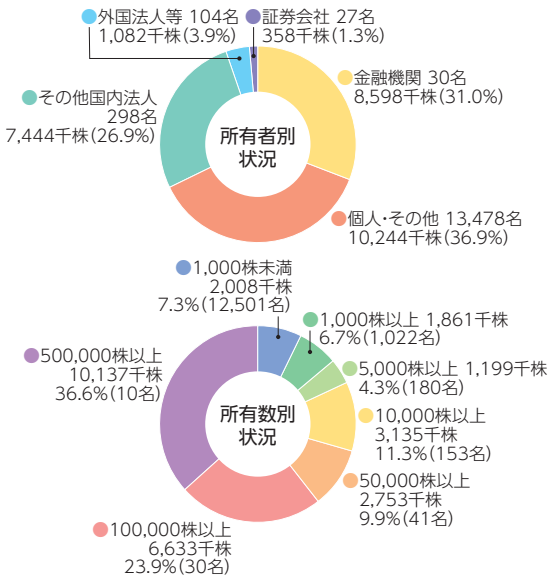
発行可能株式総数	45,600,000株
発行済株式の総数	27,726,852株
株主数	13,937名

大株主の状況

株数:千株未満切捨

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,380	8.59
ヤマエグループ社員持株会	1,390	5.02
ヤマエ第一食栄会	1,202	4.34
南英福社会	934	3.37
株式会社福岡銀行	879	3.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	768	2.77
共栄火災海上保険株式会社	718	2.59

株式分布状況



会社概要

2025年3月31日現在

商号	ヤマエグループホールディングス株式会社
英文名	YAMAE GROUP HOLDINGS CO.,LTD.
本社	〒812-8548 福岡市博多区博多駅東二丁目13番34号
設立年月日	2021年10月1日
資本金	9,224,635,492円
連結従業員数	5,997名 [10,402名]

(注)連結従業員数は就業人員(当企業グループから当企業グループ外への出向者を除き、当企業グループ外から当企業グループへの出向者を含む。)であり、臨時従業員数は〔 〕内に当連結会計年度の平均人員(各月末人員の平均)を外数で記載しております。

役員

2025年6月20日現在

代表取締役会長CEO*1	網田 日出人
代表取締役社長COO*2	大森 礼仁
取締役副社長CAO*3	山田 良二
常務取締役CHO*4	丸山 武子
取締役	工藤 恭二
取締役監査等委員	草場 信之
取締役監査等委員	森 泰文
社外取締役監査等委員	安倍 寛信
社外取締役監査等委員	中西 常道
社外取締役監査等委員	下坂 正夫
社外取締役監査等委員	山本 智子

常務執行役員CSO*5	谷 昭彦
常務執行役員CIO*6	奥富 眞一
常務執行役員CFO*7	長野 正毅
常務執行役員	新田 真也
常務執行役員	森田 良彦
執行役員	田中 英穂
執行役員	熊谷 洋一

*1 CEO (Chief Executive Officer) : 最高経営責任者
*2 COO (Chief Operating Officer) : 最高執行責任者
*3 CAO (Chief Administrative Officer) : 最高総務責任者
*4 CHO (Chief Human resource Officer) : 最高人事責任者
*5 CSO (Chief Strategy Officer) : 戦略責任者
*6 CIO (Chief Information Officer) : 情報責任者
*7 CFO (Chief Financial Officer) : 財務責任者

会社名	主要な事業内容	出資比率(%)
●ヤマエ久野株式会社	主に食品関連、住宅・不動産関連等において商品の販売、製造、加工等を行う卸売業	100.0
●高千穂酒造株式会社	焼酎の製造及び販売	100.0
●高千穂倉庫運輸株式会社	運送、倉庫業	100.0
●ヤマエ石油株式会社	石油製品販売、車両整備、損害保険取扱	100.0
●株式会社リンネット	情報処理及びソフト開発	100.0
●株式会社ワイテック	木材加工及び住宅用建築資材の販売	100.0
●ヤマエレンタリース株式会社	レンタカー事業	100.0
●ヤマエ菓子株式会社	菓子の卸売	100.0
●デリカSFホールディングス株式会社	持株会社	90.7
●株式会社デリカフレンズ	弁当惣菜の製造、販売	90.7
●株式会社惣和	惣菜類の製造、販売	90.7
●みのりホールディングス株式会社	持株会社	100.0
●株式会社河内屋ジェノス	業務用酒類卸	100.0
●フィット株式会社	酒類、食品配送業	100.0
●株式会社山栄商事	運送業	100.0
●株式会社春日や	酒類卸、小売業	100.0
●ヤマエBUILD株式会社	建設工事業、不動産の保有・賃貸・売買・管理・仲介等	100.0
●株式会社TATSUMI	食材及びワイン中心のレストラン専門卸売業	80.0
●YLO株式会社	CVSセンター運営事業	80.0
●HVCホールディングス株式会社	持株会社	100.0
●ハイビップ株式会社	木材加工及び住宅用建築資材の販売	100.0
●株式会社鹿島技研	一般建設業、鋼製型枠・金物・鉄筋製造業、ISベース柱脚事業	100.0
●株式会社栄住産業	屋根・バルコニー防水業、太陽光発電の施工・販売業、住宅資材販売業、管工事業、空調換気・消防施設工事業	100.0
●あしたも株式会社	ピザ・その他飲食事業(ピザハットのフランチャイズ運営)	100.0
●有限会社クロスアグリ	青果卸	100.0
●株式会社アスティーク	建売分譲住宅販売・分譲宅地販売・注文住宅建築業、不動産売買仲介事業	100.0
●福岡農産株式会社	精米卸売業	100.0
●株式会社福岡ワールドブレインズ	輸入有機米事業	100.0
●丸永株式会社	養豚業、採卵養鶏業	100.0
●YGL株式会社	持株会社	100.0
●九州栄孝エクスプレス株式会社	一般貨物運送事業、利用貨物運送事業	100.0
●日本ピザハット・コーポレーション株式会社	持株会社	100.0
●日本ピザハット株式会社	配達飲食サービス	100.0
●ピザハット・エージェンシー株式会社	広告宣伝部門に係る業務	100.0
●ヤマエリアルティ株式会社	不動産の所有・賃貸・売買並びに仲介業務	100.0
●株式会社クイックス	畜肉加工及び畜肉惣菜の製造販売	65.0
●津浦ゴルフアリーナ株式会社	ゴルフ練習場の経営、ゴルフ競技会の企画・運営等	100.0

会社名	主要な事業内容	出資比率(%)
●株式会社LUMBER ONE	事業持株会社、不動産賃貸事業	100.0
●株式会社YAZAWA LUMBER	建設工事の設計・施工・請負	100.0
●株式会社裕企画	不動産の売買、賃貸、管理及びその仲介	100.0
●株式会社チャオ・ホールディングス	持株会社	100.0
●チャネルオリジナル株式会社	各種建築資材の開発・販売	100.0
●株式会社屋久島地杉加工センター	屋久島地杉の製材	80.0
●ウッドファミリー株式会社	北海道広葉樹の製品加工と販売	100.0
●株式会社インフォレスト	輸入木材・輸入建材の卸売	100.0
●CHANNEL-EX TRADING CORPORATION	北米の木材販売並びに輸入建材の販売	100.0
●兼希工業株式会社	建築用木質パネル加工、木材加工、建築用部材販売等	100.0
●エコーデリカ株式会社	弁当惣菜の製造、販売	100.0
●コンフェックスホールディングス株式会社	持株会社	92.8
●コンフェックス株式会社	菓子食品総合商社	92.8
●クリート株式会社	菓子商品企画・開発・輸入販売	92.8
●株式会社きらら	菓子の製造、販売	92.8
●株式会社スイートファクトリー	菓子の製造、販売	92.8
●株式会社YSO	コンビニフランチャイズチェーンの運営	92.8
●株式会社夢や	菓子類及び玩具類の小売	92.8
●株式会社マール	水産物及び青果物の輸入卸売	100.0
●トップ卵株式会社	鶏卵・鶏卵加工食品販売	100.0
●トップ卵ファーム株式会社	養鶏業・鶏卵の包装、加工及び販売	100.0
●株式会社村上養鶏場	養鶏業・鶏卵の包装、加工及び販売	100.0
●馬場飼料株式会社	畜産用飼料の販売及び畜産技術指導	100.0
●株式会社百一堂	食料品の製造及び販売	100.0
●株式会社FアンドS	持株会社	100.0
●株式会社オトスイ	水産物の集荷及び販売	100.0
●株式会社カネシメイチ	漁業、水産物卸売業、冷蔵倉庫業	100.0
●株式会社不動産のおおさわ	戸建販売事業、不動産事業	100.0
●心建設株式会社	戸建建築・販売事業、不動産事業	100.0
●ヤマエグローバル株式会社	輸出入業及び子会社の管理・指導等	100.0
●ORIGINAL JAPAN S.R.L.	飲食店経営、貿易業務	100.0
●Arco Marketing Pte Ltd	冷凍シーフード及び加工食品の輸出入・販売	100.0

関連会社

●株式会社クオリティファーム	養豚業	49.0
●トイメディカル株式会社	医療機器・健康食品・美容品の開発及び販売	29.6
●トリゼンクオリティオーシャンズ株式会社	水産資材販売・水産物販売業	49.0
●株式会社トワード	ロジスティクス事業、情報システム事業、食品・ガソリン事業	30.0

●国内子会社 ●海外子会社 (注)出資比率は間接保有を含んでおります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当基準日 毎年3月31日

1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告により行い、インターネット上のウェブサイト(<https://www.yamaegroup-hd.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

株式事務手続きに関するお問い合わせ先

●証券会社等に口座をお持ちの場合

住所・氏名等、届出事項の変更 配当金受取方法の変更 単元未満株式の買取請求 等	お取引の証券会社等までお問い合わせください。
未受領の配当金の お受取について	下記株主名簿管理人(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または下記株主名簿管理人(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。

●証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

各種手続き等	下記特別口座管理機関(みずほ信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。
--------	---------------------------------------

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4

☎0120-288-324 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)

インフォメーション

株主優待制度導入に関するお知らせ

株主優待制度導入の目的

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、投資対象としての当社株式の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ること、並びにより多くの皆様に当社及び当社グループの事業に対するご理解をいただくことを目的として、株主優待制度を導入いたしました。

対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された100株以上の当社株式を1年以上継続して保有されている株主様を対象といたします。(ただし、2025年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上の当社株式を保有する株主様は、初回に限り保有期間にかかわらず対象といたします。)

※「継続して1年以上保有」とは、基準日を3月31日とし、9月30日及び3月31日の当社株主名簿に同一株主番号で連続して3回以上かつ100株以上の保有が記載または記録されていることが対象となります。

株主優待内容



保有株式数	優待の内容
100株以上	ピザハットオンライン(WebサイトURL https://www.pizzahut.jp ・公式アプリ)及びピザハット店頭で利用可能なデジタルギフトカード3,000円分 利用可能期間:2025年7月1日~2025年12月31日までの6ヵ月間

贈呈時期

毎年6月に開催いたします当社定時株主総会終了後に送付する決議通知等に同封してお送りいたします。

その他

株主優待制度の内容について変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

地域性を、可能性に。

ヤマエグループホールディングスは
流通のトータルサポーターとして、
高品質なサービスを提供し、
これからも人・企業・社会をつないでいきます。

統合報告書はこちらから

<https://www.yamaegroup-hd.co.jp/ir/integrated-report/>



当社グループの経営における考え方や持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて、ご一読いただけましたら幸いです。

中間事業報告書廃止のお知らせ

当社では、毎年6月と12月の年に2回、株主の皆様向けに当社の業績や近況をお知らせする「事業報告書」・「中間事業報告書」を発行しております。このたび、森林資源保護、環境負荷低減に向けた取り組みの一環として、12月発行の「中間事業報告書」を廃止させていただき運びとなりました。なお、当社事業に関する情報については、引き続き6月にお届けする「事業報告書」のほか、「統合報告書」の内容をより充実させてまいりますので、そちらをご高覧ください。

株主の皆様におかれましては、何卒、ご理解いただきますとともに、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

流通のトータルサポーター

 ヤマエグループホールディングス株式会社

〒812-8548 福岡市博多区博多駅東二丁目13番34号
TEL. 092-412-0711

<https://www.yamaegroup-hd.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。